

農001	項 目 名	新規就農営農支援事業費		
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費		ページ	31
年度	R8		所 属 名	
			農林水産部 農政企画課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費		【1 2次総の施策体系】3104		
項 農業費		【事業の経過及び背景】 新規就農者の定着を図るため、経営が不安定な就農初期の支援策として経営開始資金等の交付や就農時の負担軽減のための農地賃借料助成、機械施設導入に係る経費助成を行う。		
目 農業総務費		【事業の目的及び効果】 新規就農した青年等の就農初期の経営を支援することで、就農時の負担軽減を図るとともに、安定経営につなげる。		
(単位:千円)		【事業の内容】 就農初期に係る運転資金等の支援を行い、新規就農時の負担軽減を図る。 ・「就農応援交付金」の交付単価の見直し：交付単価 100千円/月⇒110千円/月 担い手確保や物価高騰を踏まえた国の支援（経営開始資金交付）制度拡充及び県の制度改正に呼応するもの。 180千円（対象者2名分：10千円×18か月）		
補正前額 53,804				
要求額 180				
総務部長段階査定額 180		その他財源の内訳		
市長段階査定額 180		分担金 0		
		負担金 0		
		使用料 0		
		手数料 0		
		財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		諸収入 0		
		その他 0		
備 考 欄				

農002	項 目 名	鳥取市果樹カメムシ類緊急防除支援事業費		
予算書項目	鳥取市果樹カメムシ類緊急防除支援事業費		ページ	31
年度	R8		所 属 名	
			農林水産部 農政企画課	
会計名		事業の概要		
一般会計		【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費		【1 2次総の施策体系】3104		
項 農業費		【事業の経過及び背景】 カメムシ類の越冬世代成虫の発生量は多いことから、第1世代成虫が発生する5月下旬以降に、果樹園への飛来量が増加している。令和6年にも果樹カメムシ類が大量発生し、梨及び柿を中心とする果樹に大きな被害を受けた。		
目 農業振興費		【事業の目的及び効果】 追加防除（定期防除を除く）を行うことで、病害虫のまん延と被害拡大防止、品質向上につなげ、生産者の営農意欲及び産地の維持・向上を図る。		
(単位:千円)		【事業の内容】 令和8年に発生が増加している果樹カメムシ類の追加防除に要する経費。 補助率 2/3（県1/3・市1/3） 事業費上限 4,800円/10a 要 件 5a以上の面積があり果樹カメムシ類用の追加防除2回実施した果樹園		
補正前額 0				
要求額 2,217				
総務部長段階査定額 2,063		その他財源の内訳		
市長段階査定額 2,063		分担金 0		
		負担金 0		
		使用料 0		
		手数料 0		
		財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		諸収入 0		
		その他 0		
備 考 欄				

農003	項 目 名	中山間地域等直接支払交付金		
予算書項目	中山間地域等直接支払事業費	ページ	31	所 属 名
年度	R8	農林水産部 農政企画課		
会計名				
一般会計				
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農業構造改善事業費			
(単位:千円)				
補正前額	89,267			
要求額	1,920			
総務部長段階査定額	1,920			
市長段階査定額	1,920			
区 分	補正額			
財源内訳	国・県支出金	1,432		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	488		
	計	1,920		
備 考 欄				
事業の概要				
【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305				
【12次総の施策体系】3104				
【事業の経過及び背景】 農業の生産条件が不利な地域における耕作放棄地の増加が懸念されている中、国及び地方自治体による支援を行う制度として平成12年度から実施してきており、令和7年度からは第6期対策として新たなスタートを切った。				
【事業の目的及び効果】 農業の生産条件が不利な中山間地域等において、集落等を単位として農業生産に必要な水路や農道の維持管理等を行う場合に、面積に応じて一定額を支援することで、耕作放棄地の発生を防止し多面的機能を確保するとともに、将来に向けた農業生産活動の継続を支援する。				
【事業の内容】 令和8年度変更申請による事業費増に伴う補正。				
●面積の内訳 (田急傾斜)当初 259.5ha 変更後 260.1ha (+0.6ha) (田緩傾斜)当初 423.8ha 変更後 427.5ha (+3.7ha) (畑急傾斜)当初 10.7ha 変更後 10.7ha (±0) (畑緩傾斜)当初 6.3ha 変更後 6.9ha (+0.6ha) (全 体)当初 700.3ha 変更後 705.2ha (+4.9ha)				

農004	項 目 名	クマ対策事業費		
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	31	所 属 名
年度	R8	農林水産部 農政企画課		
会計名				
一般会計				
款	農林水産業費			
項	林産業費			
目	林業総務費			
(単位:千円)				
補正前額	3,618			
要求額	1,393			
総務部長段階査定額	1,393			
市長段階査定額	1,393			
区 分	補正額			
財源内訳	国・県支出金	1,044		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	349		
	計	1,393		
備 考 欄				
事業の概要				
【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303				
【12次総の施策体系】3104				
【事業の経過及び背景】 人里へのツキノワグマの出没による人身事故を防ぐ。				
【事業の目的及び効果】 果樹園や人家近くに出没するクマに関する対策を講じることで、農作物の保護及び住民の安全を確保する。また、クマの緊急銃猟や錯誤捕獲等による対応時におけるクマよけスプレーや防護盾などの安全装備購入により、実務者の安全対策を図る。				
【事業の内容】 ○緊急銃猟想定訓練講習会の開催（3回） 受講予定者：鳥取市鳥獣被害対策実施隊員（10人×3回想定） ・射撃場利用料 412,800円（3回分） ・ライフル弾 585,000円（650円×30発×30人） ・マイクロバス代 394,980円（3回分） ■開催場所 兵庫県立総合射撃場				

農005	項 目 名	漁業者燃油高騰対策緊急支援事業費(重点支援地方交付金)		
予算書項目	漁業振興対策事業費	ページ	31	所 属 名
年度	R8	農林水産部 林務水産課		
会計名				
一般会計				
款	農林水産業費			
項	水産業費			
目	水産業振興費			
(単位:千円)				
補正前額	0			
要求額	3,987			
総務部長段階査定額	3,987			
市長段階査定額	3,987			
区 分	補正額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	3,190	分担金	0
	地方債	0	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	797	手数料	0
	計	3,987	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			諸収入	0
			その他	0
備 考 欄				

事業の概要

【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312

【１２次総の施策体系】3104

【事業の経過及び背景】
令和８年４月１日の暫定税率廃止に伴い、国による定額引き下げ措置が終了し、更には、中東情勢により原油価格が高騰し漁業者が負担する燃油費は上昇し続けており、漁業経営を圧迫している。

【事業の目的及び効果】
温暖化による漁場の変化及び燃油高騰等厳しい経営環境にも耐えうる効率的な経営体質への転換を図り、将来にわたって水産物の安定供給を担える持続的な漁業経営の実現を支援する。

【事業の内容】
漁業者の経営状況は、昨年からの不漁に加え、中東情勢の影響による物価高騰が重なり、かなり厳しい状況となっていることから、緊急措置として燃料費の一部を支援するもの。
・対象燃料：Ａ重油
・補助額：２.５円/ℓ
※国の燃料価格定額引下げ措置（Ａ重油：５円）の廃止による価格上昇分のうち半額を補助。

農006	項 目 名	単独災害復旧費【令和5年台風第7号関連】		
予算書項目	過年発生災害復旧費	ページ	37	所 属 名
年度	R8	農林水産部 林務水産課		
会計名				
一般会計				
款	災害復旧費			
項	災害復旧費			
目	農林水産業施設災害復旧費			
(単位:千円)				
補正前額	15,053			
要求額	29,190			
総務部長段階査定額	29,190			
市長段階査定額	29,190			
区 分	補正額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	0	分担金	0
	地方債	29,100	負担金	0
	その他	0	使用料	0
	一般財源	90	手数料	0
	計	29,190	財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			諸収入	0
			その他	0
備 考 欄				

事業の概要

【問合せ先】林務係 0857-30-8311

【１２次総の施策体系】3104

【事業の経過及び背景】
令和５年８月発生の台風第７号の災害により、法面崩落等の被害を受けたため、早急な対応が必要となった。

【事業の目的及び効果】
林道利用者の安全の確保及び林業経営への影響を最小限に抑えるため、早期に災害からの復旧を図る。

【事業の内容】
令和５年台風第７号により被災した林道若桜江府線について、令和８年６月に被災状況の変化（法面崩壊等）が確認されたため測量調査、設計等を行う経費。

農007	項 目 名	補助災害復旧費【令和5年台風第7号関連】				
予算書項目	過年発生災害復旧費		ページ	37	所 属 名	農林水産部 農村整備課
年度	R8					
会計名						
一般会計						
款	災害復旧費					
項	災害復旧費					
目	農林水産業施設災害復旧費					
(単位:千円)						
補正前額		12,075				
要求額		25,000				
総務部長段階査定額		25,000				
市長段階査定額		25,000				
区 分		補正額				
財 源 内 訳	国・県支出金	16,250				
	地方債	8,500				
	その他	250				
	一般財源	0				
	計	25,000				
その他財源の内訳						
分担金		0				
負担金		250				
使用料		0				
手数料		0				
財産収入		0				
寄付金		0				
繰入金		0				
諸収入		0				
その他		0				
備 考 欄						

事業の概要

【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317

【1 2 次総の施策体系】3104

【事業の経過及び背景】

令和5年台風第7号により農地・農業用施設が被災を受けた。

【事業の目的及び効果】

農業経営への影響を最小限に留めるため、可能な限り早期に工事を行い、災害からの復旧を図る。

【事業の内容】

事業費の増による補正。25,000千円増

※その他財源の負担金は、地元負担金